

ぎふ弦楽器貸与プロジェクト《STROAN》

—募集要項—

「ぎふ弦楽器貸与プロジェクト《STROAN》」は、音楽家を目指す若者たち、さらなる研鑽を積む意欲ある弦楽器奏者たちの支援・育成を目的として、サラマンカホールが、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロの弦楽器を無償で貸与する取組みです。

令和元年8月、弦楽器40挺が岐阜県に寄贈されました。多くの方に愛され、末永く活用されることを願い、これら弦楽器の借り受けを希望される方を募集します。

皆さまからのご応募をお待ちしております。

1. 貸与する弦楽器

日本、イタリア、ポルトガル、フランスの現代の弦楽器職人が製作した楽器、
総40挺

(1) カルテットに貸与する弦楽器（4組16挺）

ヴァイオリン：8挺、ヴィオラ：4挺、チェロ：4挺

(2) 個人に貸与する弦楽器（24挺）

ヴァイオリン：14挺、ヴィオラ：6挺、チェロ：4挺

※弦楽器のサイズはいずれも「4/4」です。

※弦楽器の詳細は別紙1「貸与弦楽器リスト」のとおりです。

2. 貸与期間

貸借契約の締結日から令和3年12月28日（火）まで

※審査委員会の承認のうえ、2年間の貸与延長が可能です。

なお、その場合でもコンディションチェックのため、原則として上記貸与期間終了日までに一度サラマンカホールへ弦楽器をご返却いただきますが、使用状況によっては返却日変更等の相談に応じられることがあります。

3. 貸与条件

- ・貸与する弦楽器は1人1挺です。なお、持ち運び用ケースも貸与しますが、弓や交換用の弦などは貸与しません。
- ・貸与弦楽器の原形変更、他人への転貸や譲渡は認められません。
- ・弦楽器は無償で貸与しますが、貸与期間中の維持管理費（弦など消耗品の交換や使用に伴う調整及びその際の交通費を含む）等は、借受者にご負担いただきます。修理の必要が生じた場合は、必ずサラマンカホールにご連絡ください。

- ・貸与中の弦楽器の損壊、損耗等の場合には損害賠償義務を負っていただきます。ただし、サラマンカホール側で加入する動産保険（国内に限る）で対応可能な場合はこの限りではありません。
- ・原則として年1回、サラマンカホールが主催または指定する演奏会等に、貸与中の弦楽器を使用し、無償出演していただきます（日程や曲目は個別に相談させていただきます）。
- ・また、貸与中の弦楽器を使用してサラマンカホールが主催または指定する演奏会等に出演いただく際の記録映像を、ホームページ・SNS等に使用することに同意いただくほか、貸与中の弦楽器を使用したご自身の活動状況の記録映像の提供に御協力いただくことがあります。
- ・上記の条件を含んだ弦楽器貸借契約をサラマンカホール（指定管理者：ふれあいファシリティズ）と書面で締結していただきます。なお、未成年の方が使用する場合、契約者は保護者等法定代理人となります。
- ・貸与期間中に弦楽器の借り換えを希望する場合は、サラマンカホールに相談してください。貸与状況によっては相談に応じられることがあります。
- ・弦楽器を不正利用した場合は、弦楽器貸借契約を解除いたします。

4. 応募資格

原則として、次のすべての要件を満たす方

- ・日本国内に、居住かつ活動の拠点がある方
- ・ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロの演奏経験が概ね3年以上ある方
- ・指導者や所属演奏団体等から推薦のある方
- ・原則年1回、サラマンカホールが指定する演奏会等に、貸与する弦楽器を使用し、無償で出演できる方

※応募書類から上記資格を満たさないと判断された場合、受付ができません。

5. 申込方法

- ・応募用紙に必要事項をご記入の上、次の書類（①～④）とともに「10. 受付窓口・問合せ先」にご提出、又はご郵送ください。なお、カルテットでの借受を希望される場合には、代表者が4名分を取りまとめて、ご提出又はご郵送ください。
- ・提出書類に不備がある場合は、申込をお受けできないことがありますので、内容をご確認のうえ提出願います。
- ・提出された書類等は返却いたしませんので、ご了承ください。
- ・応募の際にいただいた個人情報等については、本事業の運営以外には使用し

ません。

【提出書類】

① 応募用紙（様式 1-1、1-2）

※個人での応募は「様式 1-1」を、カルテットでの応募は「様式 1-2」をそれぞれ提出してください。

※書式は HP よりダウンロードしてください。

② 指導者等の推薦書（様式 2）

③ 氏名、住所、生年月日の証明となる本人確認書類

次のアからエまでのいずれかの写しを添付してください。

なお、住所、氏名、生年月日を確認できるようにコピーしてください。

ア) 運転免許証…住所変更がある場合は裏面（現住所記載面）も必須

イ) 健康保険証…裏面に現住所の記載がある場合は裏面も必須

ウ) 旅券…顔写真のページと所持人欄（現住所記載面）のページ

エ) マイナンバーカード…写真付きの「カード」に限る（通知書は不可）

※カルテットでの応募は 4 名分の写しが必要です。

④ 返信用封筒 1 通（84 円切手を貼付し、住所・氏名を記入してください。）

※カルテットでの応募は代表者の住所・氏名を記入してください。

6. 募集期間 令和元年 12 月 2 日（月）～令和 2 年 2 月 21 日（金）

※郵送の場合は当日消印有効

※受付窓口に提出される場合は、9：00 から 17：00 までの間に
サラマンカホール事務室へご持参ください。

7. 事前試奏

どの楽器を借り受け希望か、事前試奏した上で決めていただくことができます。

なお、予約制となっておりますので、試奏を希望される方は、「10. 受付窓口・問合せ先」へ電話にてご連絡ください。また、試奏可能日は、HP にて随時お知らせいたします。

〔試奏期間〕 令和元年 12 月 2 日（月）～令和 2 年 2 月 21 日（金）

9：00～17：00（試奏終了時間）

〔試奏場所〕 サラマンカホール内

8. 貸与審査（借受者の決定）

（1）実施方法

弦楽器貸与審査委員会が審査を行い、借受者を決定します。

- ・審査時間は10～12分程度を予定しております。
- ・演奏曲は別紙2「実技審査課題曲」のとおりです。
- ・審査では普段使用されている弦楽器で演奏していただくことが望ましいですが、借受を希望される弦楽器そのものを当日使用していただくことも可能です。なお、弓は各自ご持参ください。
- ・ピアノ伴奏が必要な場合には、伴奏者を各自で手配していただきます。なお、サラマンカホールでも伴奏者を用意しますが、当日のリハーサルは保証できません。

(2) 審査日時

実施日：令和2年3月21日（土）

時間：10：00～

※審査時間については、遅くとも審査実施日の1週間前までに、文書によりご連絡します。

(3) 審査委員（7名）

氏名	役職等
はらだ さだお 原田 禎夫	上野学園大学音楽学部特任教授、サラマンカホール・レジデント・カルテット指導者
フェデリコ・アゴスティーニ	愛知県立芸術大学客員教授
かのうざわ なおこ 叶澤 尚子	名古屋フィルハーモニー交響楽団ヴィオラ首席奏者
こばやし りょうた 小林 亮太	岐阜県アマチュアオーケストラ連盟
はやかわ みゆき 早川 幸	岐阜県アマチュアオーケストラ連盟
うらひさ としひこ 浦久 俊彦	サラマンカホール音楽監督
かね れいこ 嘉根 礼子	サラマンカホール支配人

9. 借受者決定のお知らせ

- ・審査日翌日（令和2年3月22日）正午（12：00）にサラマンカホールのHPで借受者を発表します。

- ・後日、応募者全員に文書でも通知します。
- ・審査結果以外の選考過程等については一切お答えできません。

10. 受付窓口・問合せ先

〒500-8384 岐阜市藪田南5丁目14番53号

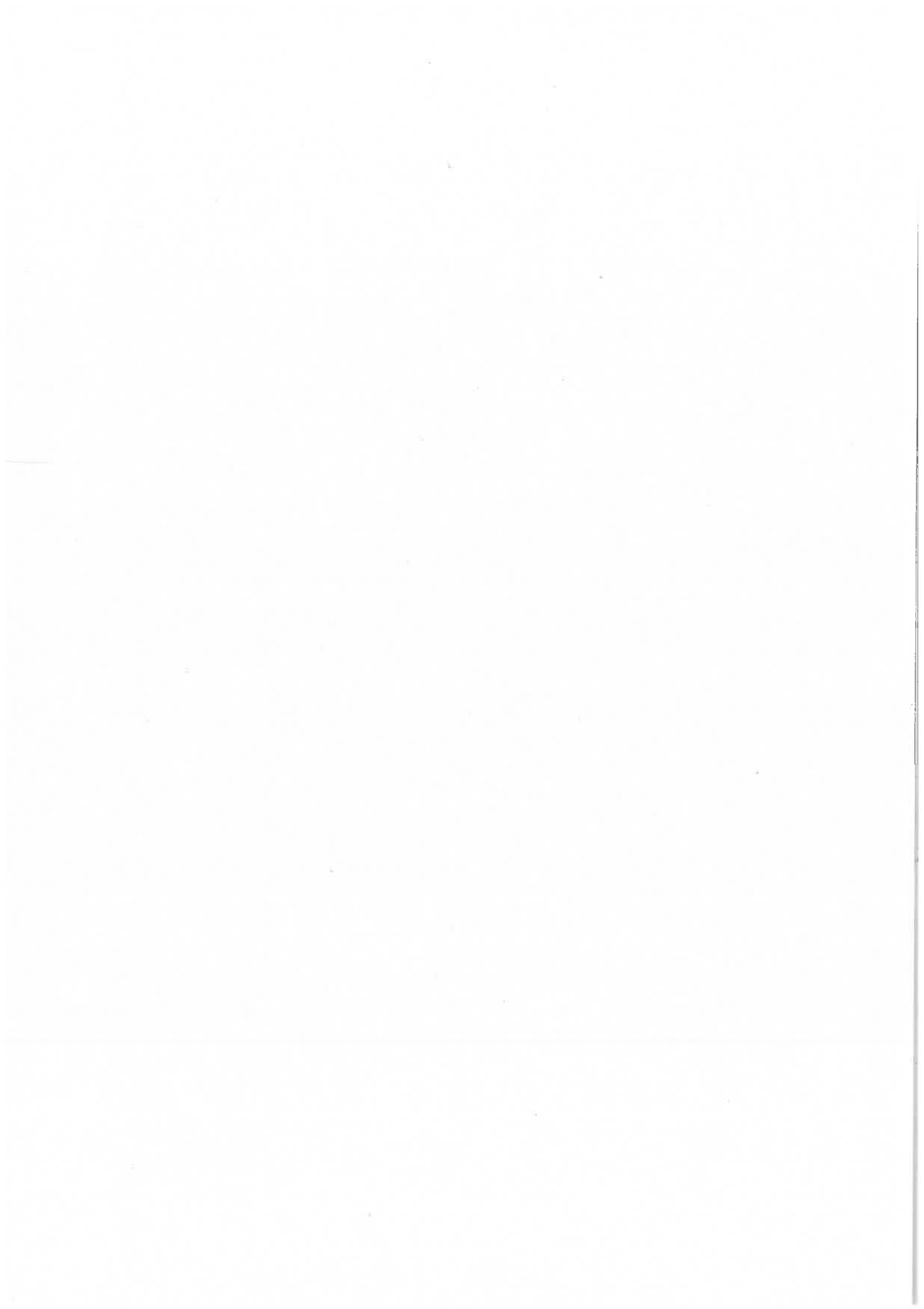
サラマンカホール事務室

サラマンカホール事業企画部 担当：矢崎、竹内

電 話：058-277-1113

FAX：058-277-1119

H P： <https://salamanca-stroan.gifu-fureai.jp>

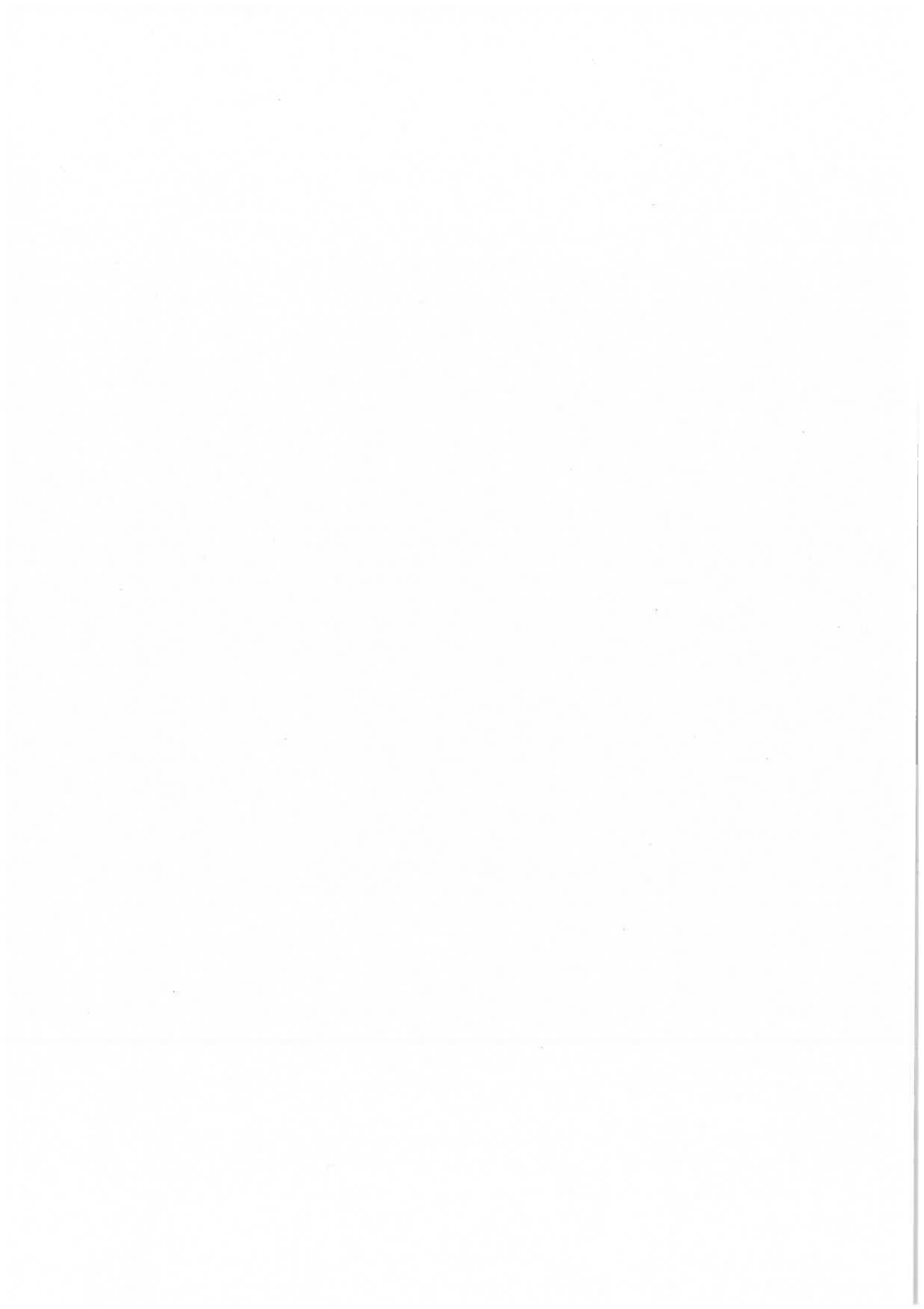


ぎふ弦楽器貸与プロジェクト《STROAN》

貸与弦楽器リスト

Cat.no.	製作者名	楽器	製作年	製作国	製作地	備考
1	レナト・スクロラヴェツァ	ヴァイオリン	1980	イタリア	パルマ	カルテット① (Cat.no.1-4)
2	レナト・スクロラヴェツァ	ヴァイオリン	1980	イタリア	パルマ	
3	レナト・スクロラヴェツァ	ヴィオラ	1980	イタリア	パルマ	
4	レナト・スクロラヴェツァ	チェロ	1974	イタリア	パルマ	
5	エリザ・スクロラヴェツァ	ヴァイオリン	2002	イタリア	パルマ	カルテット② (Cat.no.6-9)
6	やち陽子	ヴァイオリン	2015	イタリア	クレモナ	
7	やち陽子	ヴァイオリン	2015	イタリア	クレモナ	
8	やち陽子	ヴィオラ	2015	イタリア	クレモナ	
9	やち陽子	チェロ	2015	イタリア	クレモナ	カルテット③ (Cat.no.10-13)
10	高橋尚也	ヴァイオリン	2016	日本	高知	
11	高橋尚也	ヴァイオリン	2016	日本	高知	
12	高橋尚也	ヴィオラ	2016	日本	高知	
13	高橋尚也	チェロ	2016	日本	高知	カルテット④ (Cat.no.14-17)
14	平塚謙一	ヴァイオリン	2006	日本	埼玉	
15	平塚謙一	ヴァイオリン	2006	日本	埼玉	
16	平塚謙一	ヴィオラ	2006	日本	埼玉	
17	平塚謙一	チェロ	2006	日本	埼玉	
18	平塚謙一	ヴァイオリン	2009	日本	埼玉	
19	平塚謙一	ヴァイオリン	2010	日本	埼玉	
20	平塚謙一	ヴァイオリン	2010	日本	埼玉	
21	平塚謙一	ヴィオラ	2010	日本	埼玉	
22	平塚謙一	チェロ	2010	日本	埼玉	
23	ラウラ・ヴィガート	ヴァイオリン	1994	イタリア	ブレシア	
24	ラウラ・ヴィガート	ヴァイオリン	1996	イタリア	ブレシア	
25	ラウラ・ヴィガート	ヴィオラ	2008	イタリア	ブレシア	
26	ラウラ・ヴィガート	チェロ	1993	イタリア	ブレシア	
27	ファビオ・ダラ・コスタ	ヴァイオリン	1990	イタリア	クレモナ	
28	ファビオ・ダラ・コスタ	ヴァイオリン	2010	イタリア	クレモナ	
29	マウリツィオ・タディオリ	ヴァイオリン	1986	イタリア	クレモナ	
30	プリモ・ピストーニ	ヴィオラ	1989	イタリア	クレモナ	
31	ブルファリ・アルセステ	ヴィオラ	1982	イタリア	クレモナ	
32	アルベルト・デンティ	ヴィオラ	1991	イタリア	クレモナ	
33	ロレンツォ・マルキ	チェロ	1983	イタリア	クレモナ	
34	マリオ・ガッタ	ヴァイオリン	1997	イタリア	マントヴァ	
35	アルベルト・ジョルダーノ	ヴァイオリン	2017	イタリア	ジェノヴァ	
36	アントニオ・カベラ	ヴァイオリン	1987	ポルトガル	エスピーニョ	
37	アントニオ・カベラ	ヴィオラ	2005	ポルトガル	エスピーニョ	
38	ヨアヒム・アントニオ・カベラ	ヴァイオリン	1996	ポルトガル	エスピーニョ	
39	ヨアヒム・アントニオ・カベラ	チェロ	1997	ポルトガル	エスピーニョ	
40	ジャン・マリア D ボーマリシェ	ヴァイオリン	1988	フランス	パリ	

※カルテットでの貸出は①Cat.no.1~4、②Cat.no.6~9、③Cat.no.10~13、④Cat.no.14~17の4組です。



ぎふ弦楽器貸与プロジェクト《STROAN》
実技審査課題曲

【小・中学生の方】

- ・自由曲1曲のみ、伴奏の有無は問いません。リピート記号は省略演奏とします。
- ・審査時間は10～12分程度。

【高校生以上の方】

○カルテットでの応募の場合

- ・弦楽四重奏曲より1曲を選択。リピート記号は省略演奏とします。
- ・審査時間は10～12分程度。

○個人での応募の場合

- ・各楽器とも課題曲及び自由曲の2曲。自由曲の伴奏有無は問いません。
- ・リピート記号は省略演奏とします。
- ・審査時間は2曲あわせて10～12分程度。

<ヴァイオリン>

【課題曲】J.S.バッハ：無伴奏ヴァイオリンのためのソナタとパルティータより、いずれかの楽章を1曲

【自由曲】1曲

<ヴィオラ>

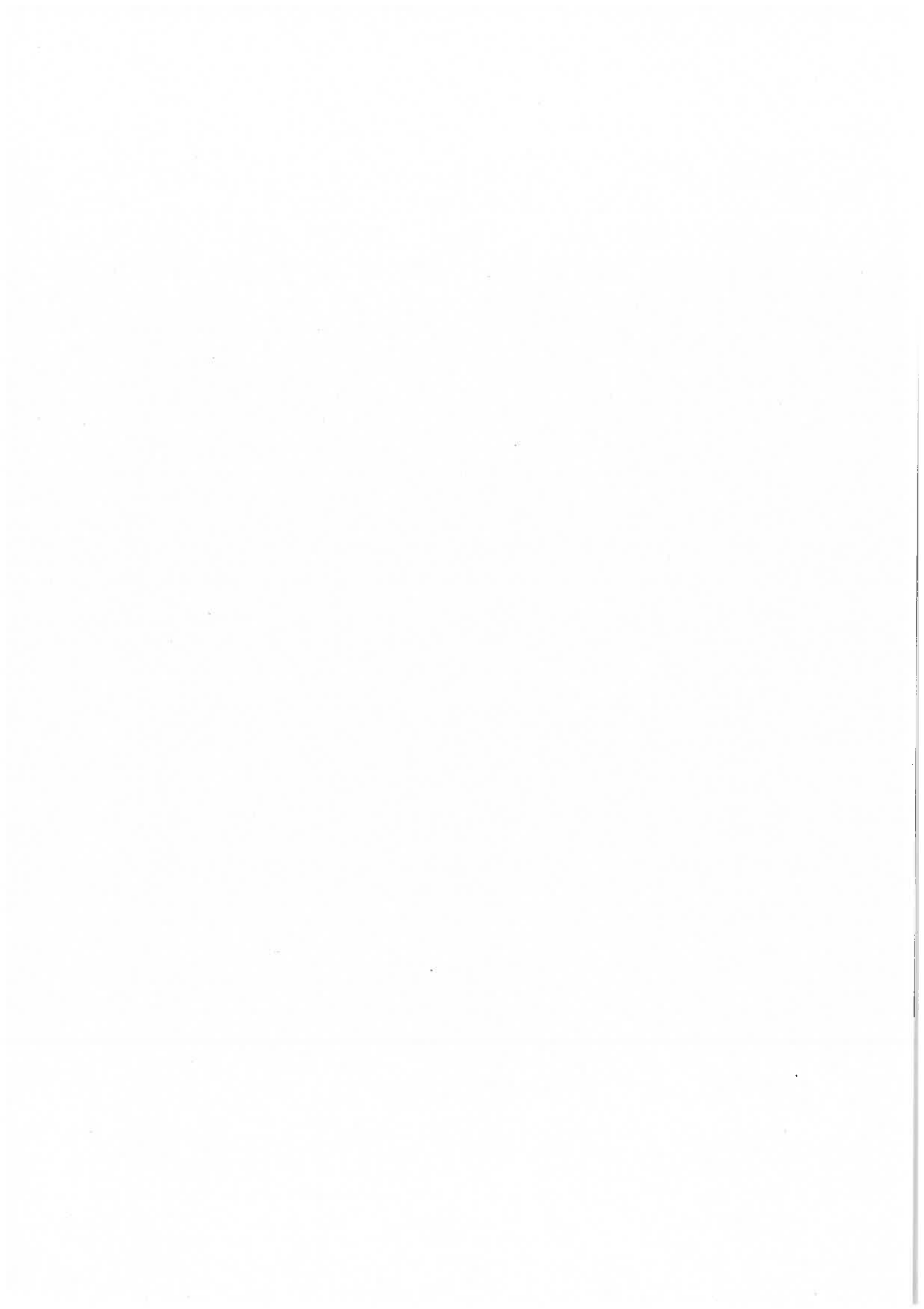
【課題曲】J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲第1番～3番より、いずれかの楽章を1曲

【自由曲】1曲

<チェロ>

【課題曲】J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲第1番～4番よりサラバンド、または第6番よりアルマンド、の中から1曲

【自由曲】1曲



ぎふ弦楽器貸与プロジェクト《STROAN》

応募用紙【個人貸与用】

●借受希望者

ふりがな			【顔写真】 <small>※胸から上、顔は全体が収まるよう、縦4cm×横3cm程度で、裏面に氏名を記載のうえ糊付けしてください。</small>
氏名			
生年月日	西暦	年 月 日	
住所	〒		
	都道		市・町・村
	府県		
	自宅TEL		携帯TEL
	FAX		
	E-mail		
	上記に不在の場合の連絡先 TEL :		(様方)
職業(学校名)	※学生の場合は所属学科、学年もご記入ください。		
楽器の種類	ヴァイオリン ・ ヴィオラ ・ チェロ		※希望する弦楽器に○を付けてください。
審査での演奏曲	課題曲	(作曲家)	(曲名)
	自由曲	(作曲家)	(曲名)
審査当日の伴奏について	ピアノ伴奏	(有り ・ 無し) で演奏 ※○をつけてください。	
	以下の2点は有りだと答えた方のみご記入ください		
	公式伴奏者の手配	(必要 ・ 不要) ※○をつけてください。	
	不要と答えた方は、伴奏者名をご記入ください。	伴奏者名 :	
応募動機			
借受楽器の主な使用場所、コンクール出演などの予定(目標も可)			
これまでの音楽歴(弦楽器の経験年数、師事した・している先生、コンクール歴等を詳しく記載してください。別紙添付でも可)			
現在の練習状況(練習時間、場所、指導者、所属演奏団体等も併記してください)			
推薦者名	※指導者の推薦書(様式2)を添付してください。		

ぎふ弦楽器貸与プロジェクト《STROAN》
応募用紙【カルテット貸与用】

●カルテット及び希望楽器について

カルテット名	※ない場合は空欄でも可	
カルテットとしての活動 状況や活動履歴 (結成時期、コンクールや コンサートの出演、カルテット としての練習頻度、指導者 等)		
応募動機		
借受楽器の主な使用場 所、コンクール出演など の予定(目標も可)		
現在の練習状況 (練習時間・場所、指導 者、所属演奏団体等も併 記してください)		
推薦者名	※指導者の推薦書(様式2)を添付してください。	
審査での演奏曲	(作曲家)	(曲名)
楽器の希望順	◆レナト・スクロラヴェツァ () ◆高橋尚也 () ※ () 内に希望順(1~4)を記載してください。 ◆やち陽子 () ◆平塚謙一 ()	

※次頁にあるメンバー個人のプロフィールもご記入ください。

●借受希望者【第1ヴァイオリン】

ふりがな		【顔写真】 <small>※胸から上、顔は全体が収まるよう、縦4cm×横3cm程度で、裏面に氏名を記載のうえ糊付けしてください。</small>
氏名		
生年月日	西暦 年 月 日 生まれ () 歳	
住所	〒 _____ 都道 _____ 府県 _____ 市・町・村	
	自宅TEL _____ 携帯TEL _____ FAX _____ E-mail _____ 上記に不在の場合の連絡先 TEL : _____ (_____ 様方)	
職業(学校名)		
	<small>※学生の場合は所属学科、学年もご記入ください。</small>	
これまでの音楽歴 (弦楽器の経験等、師事した・している先生、コンクール歴等を記載してください。別紙添付でも可)		

●借受希望者【第2ヴァイオリン】

ふりがな		【顔写真】 <small>※胸から上、顔は全体が収まるよう、縦4cm×横3cm程度で、裏面に氏名を記載のうえ糊付けしてください。</small>
氏名		
生年月日	西暦 年 月 日 生まれ () 歳	
住所	〒 _____ 都道 _____ 府県 _____ 市・町・村	
	自宅TEL _____ 携帯TEL _____ FAX _____ E-mail _____ 上記に不在の場合の連絡先 TEL : _____ (_____ 様方)	
職業(学校名)		
	<small>※学生の場合は所属学科、学年もご記入ください。</small>	
これまでの音楽歴 (弦楽器の経験等、師事した・している先生、コンクール歴等を記載してください。別紙添付でも可)		

●借受希望者【ヴィオラ】

ふりがな		【顔写真】
氏名		
生年月日	西暦 年 月 日 生まれ () 歳	※胸から上、顔は全体が収まるよう、縦4cm×横3cm程度で、裏面に氏名を記載のうえ糊付けしてください。
住所	〒 都道 府県 市・町・村 自宅TEL 携帯TEL FAX E-mail 上記に不在の場合の連絡先 TEL : (様方)	
職業(学校名)	※学生の場合は所属学科、学年もご記入ください。	
これまでの音楽歴 (弦楽器の経験等、師事した・している先生、コンクール層等を記載してください。別紙添付でも可)		

●借受希望者【チェロ】

ふりがな		【顔写真】
氏名		
生年月日	西暦 年 月 日 生まれ () 歳	※胸から上、顔は全体が収まるよう、縦4cm×横3cm程度で、裏面に氏名を記載のうえ糊付けしてください。
住所	〒 都道 府県 市・町・村 自宅TEL 携帯TEL FAX E-mail 上記に不在の場合の連絡先 TEL : (様方)	
職業(学校名)	※学生の場合は所属学科、学年もご記入ください。	
これまでの音楽歴 (弦楽器の経験等、師事した・している先生、コンクール層等を記載してください。別紙添付でも可)		

ぎふ弦楽器貸与プロジェクト《STROAN》
推 薦 書

1. 被推薦者（弦楽器を借り受ける方）

氏 名： _____（カルテット名 _____）

※カルテットでご応募の場合は、代表者名およびカルテット名をご記入下さい。

生年月日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

現 住 所： _____

2. 推薦理由

3. 推薦者

氏 名： _____

住 所： _____

職 業： _____ 電話番号： _____

推薦者との関係： _____

4 推薦者の署名

私は、 _____ を「ぎふ弦楽器貸与プロジェクト」の
弦楽器借受者にふさわしい者として推薦します。

令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日 署名 _____